

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	一般教養講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	40回（80単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース/舞台製作コース/PAコース/照明コース/ライブハウスコース/ローディーコース レコーディングコース/P A &レコーディングコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☐ 非該当 ☒				
担当講師 実務経歴					
授業概要					
「コミュニケーション能力」「状況判断能力」「説明能力」の3点をテーマとした講義。					
到達目標					
社会人としての基礎的スキルの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	グループワークの基本 状況説明 ・地図、図形、絵の言語化 ・話の整理、要約
【前期】 6～10回目	文章講座 ・「話し言葉」と「書き言葉」 ・日本語の基本構文、5W1H
【前期】 11～15回目	ビジネス文書 ・ビジネスメール ・社内文書
【前期】 16～20回目	ビジネス文書 ・社外文書 ・社交文書
【後期】 21～24回目	コミュニケーション ・概論 ・非言語コミュニケーション ・言語コミュニケーション ・説得的コミュニケーション
【後期】 25～28回目	敬語 ・敬語の種類 ・尊敬語の使い方 ・謙譲語の使い方
【後期】 29～32回目	敬語 ・実践 間違いやすい敬語、仕事でよく使われる敬語
【後期】 33～36回目	心理学講座 ・人の錯覚、思い込み ・自分を知る（心理テスト） ・他者からの影響、社会からの影響 ・自分の長所、他者との関わり方
【後期】 37～40回目	就活に向けて ・音楽に関わる仕事、自分に向いている仕事 ・情報収集について ・履歴書を書く
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	社会に出てから必要とさせるビジネスマナー 恥ずかしくない人間構築を目指しましょう！
使用教科書	随時テキスト配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	パソコン講座Ⅰ		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	40回（80単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース/舞台製作コース/PAコース/照明コース/ローディーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経験：27年 デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP（デスクトップパブリッシング）のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。				
授業概要					
通常業務でよく使用されている「Word」「Excel」「Illustrator」についての解説、操作実習。 フライヤー・WEBプロモーション時における情報管理の徹底、SNSの取り扱いについて					
到達目標					
音楽業界で必要とさせる「Word」「Excel」「Illustrator」の3つのソフトの基本的な操作方法。 就職してからすぐに役立つ技術の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	social networking service、ネットリテラシー等 ・ イベント開催時におけるSNS利用の効果と注意点 ・ 情報管理(コンプライアンス)について、守秘義務の重要性
【前期】 3～8回目	Microsoft Excel ・ Excelの基本操作 ・ タイムテーブル ・ 簡単な計算 ・ 予算書 ・ スケジュール管理
【前期】 9～14回目	Microsoft Excel ・ 簡単な計算 ・ 予算書 ・ スケジュール管理
【前期】 15～20回目	Microsoft Word ・ Wordの基本操作 ・ 文字の入力 ・ 応用課題
【後期】 21～24回目	Adobe Illustrator ・ 簡単な名刺の作成方法
【後期】 25～28回目	Adobe Illustrator ・ 地図の作成方法
【後期】 29～32回目	Adobe Illustrator ・ フライヤー制作の方法
【後期】 33～36回目	Adobe Illustrator ・ 簡易的な図面の作成方法
【後期】 37～40回目	Adobe Illustrator ・ デザインの基礎
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	エンターテインメント業界で、必要とさせるパソコンスキル 基礎から学び就職してからすぐに役立つ技術の習得 苦手意識持たずにTRYしていきましょう。
使用教科書	学園MAC使用

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	音楽業界基礎講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	40回（80単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース/舞台製作コース/PAコース/照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：22年 ポストプロダクションにてアシスタントオペレーターを経験後、プロダクションや音楽出版社にてマネジメント、ファンクラブ、宣伝、営業、デスク、経理と様々な業務に従事。メジャーからインディーズ・シーンまで、幅広い人脈を活かして活動中。				
授業概要					
エンターテインメント業界を目指すためのノウハウを学ぶ。 社会人としてのマナー講座・キャリアトレーニング。					
到達目標					
秘書検定取得を目指す。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	エンターテインメント業界の構図 芸能業界の全体像 プロダクションの業務内容
【前期】 6～10回目	レコード会社の業務内容 著作権について
【前期】 11～15回目	音楽出版社の業務内容 放送局/出版社/Webメディア TV・ラジオの業務内容
【前期】 16～20回目	ポストプロダクション 映像制作会社/編集スタジオ/MAスタジオ/音プロ RECスタジオ/マスタリングスタジオ/リハーサルスタジオ
【後期】 21～24回目	キャリアトレーニング授業概要 必要とされる資質 心構え・条件
【後期】 25～28回目	職務知識 役割・機能・職務 一般知識 企業の基礎知識・企業の組織と活動・社会常識
【後期】 29～32回目	マナー・接遇 人間関係と話し方・聞き方の応用 マナー・接遇 電話の応対・交際
【後期】 33～36回目	技能 ・会議と秘書 ・ビジネス文書と秘書 ・文書管理/資料管理/日程管理 ・オフィス管理
【後期】 37～40回目	秘書検定試験対策 ビジネスマナー 必要とされる資質・企業実務/対人関係・技能
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	「音楽業界のルール」、そして「一般社会のルール」。専門知識以外にも知らなくてはいけない事が多いです。 良い大人になる為頑張りましょう！
使用教科書	秘書検定テキスト

専門学校E S P エンタテインメント東京

授業科目名	クリエイティブPC講座Ⅰ		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	84回（168単位時間）	年間単位数	11単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース/ライブハウスコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：27年 デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP（デスクトップパブリッシング）のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。				
授業概要					
Excel、Illustrator、Photoshop、Dreamweaver等のアプリケーションソフトの基本的な使用方法を学ぶ。					
到達目標					
イベントロゴデザイン、フライヤー&チケットデザイン作業のノウハウ修得。 Webによる広報作業の技術力の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	Excel ・時間割の作成・セル内縮小・改行 ・関数 ・アートワード・図形描画・重なり合い ・タイムテーブル作成
【前期】 11～20回目	色彩 ・RGBとCMYK・キーとの組み合わせ他 ・フォントの用法 ・ペンツール練習 ・ダイレクト選択ツール ・重なり合い
【前期】 21～30回目	Illustrator ・トレース練習 ・図形描画 ・レイヤー ・文字ツール ・テキストエリア ・整列 ・パスファイン ・スポイト ・はさみ等 ・Illustrator&PDFデーター作成 入稿データー作成手順
【前期】 31～40回目	Photoshop ・調整レイヤーによる補正 ・選択範囲の作り方・クイックマスク illustrator&photoshop 入稿データー作成
【後期】 41～48回目	web 基礎知識（Dreamweaver） ・インターネットの仕組み、ネットリテラシー等 ・拡張子による形式の違い/カラーコード 16進数
【後期】 49～56回目	web 制作（Dreamweaver） ・タグの使用ルール・基本的なタグ サンプルページの作成 ・要素・属性・値/align・imgなど ・絶対パスと相対パス
【後期】 57～64回目	web 制作（Dreamweaver） ・Illustrator&photoshopでWeb用画像素材の作成 ・サンプルページ完成
【後期】 65～72回目	web 復習 CSSの使い方・違い・使い分け
【後期】 73～84回目	gifアニメの作成 サンプルページをDreamweaverを使用して作成
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	就職で必要とさせるパソコンスキル。 より高度な技術取得を目指していきましょう。
使用教科書	学園MAC使用

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台・制作基礎実習		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	82回（164単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース/舞台製作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目				

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	制作とは/制作会社とイベンター会社の違い 制作の役割 舞台監督の役割/進行の重点
【前期】 11～20回目	舞台用語の基礎 各セクションの役割を知る 尺貫法
【前期】 21～30回目	山台組の基礎 舞台監督／進行／ライブの一日の流れ タイムテーブルの作り方
【前期】 31～40回目	立ち位置／バミリ／導線／ケーブル養生 図面の描き方／読み方 工具の使い方
【後期】 41～48回目	基本的な楽器セッティング バンド転換 積み込み
【後期】 49～56回目	簡単な製作物 重量物の扱い 楽器ケースの扱い
【後期】 57～64回目	日本地図 県名／県庁所在地の確認 ツアー行程表
【後期】 65～72回目	ツアーを作る セットリスト作成 ブロンプターについて
【後期】 73～82回目	ブロンプター譜割り 各種税金の種類について
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	制作作業は、細部にわたる調整・運営作業がチームの絆を生み出します。 より良い舞台スタッフをまとめる事が重要です。
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	企画制作実習 I - A		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	42回（84単位時間）	年間単位数	2 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目				

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	企画制作について 制作会社とイベンター会社について
【前期】 6～10回目	企画のテーマ・コンセプトについて
【前期】 11～15回目	企画書類の理解・作成方法
【前期】 16～20回目	様々な状況を想定しながらの運営方法 （トラブルシューティング）
【後期】 21～24回目	効果的な宣伝術について
【後期】 25～28回目	アーティストの出演交渉法について
【後期】 29～32回目	ギャランティーについて
【後期】 33～36回目	予算計画書の作成
【後期】 37～42回目	各セッションとのミーティングを重ねながら、チームでの連携・実務
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	制作作業は、チームワークがとても大切です。 コミュニケーション能力を高め「最高のイベント」を作り出しましょう。
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	企画制作実習 I - B		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	82回（164単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：22年 立上げに関わったイベント制作会社にて、「音楽」「演劇」などのイベントを多目的ホール・ライブハウスで企画制作に従事。また主催イベントでは、企画に携わるかたわら、デザイン・Web・映像クリエイターとして制作、監修業も務める。				
授業概要					
全セクション合同で開催する「企画ライブ」の運営。					
到達目標					
イベント制作の思考法・技術の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	様々な思考法の習得
【前期】 11～20回目	身につけた思考法を活用し、アイデアを広げる演習
【前期】 21～30回目	ブレインストーミングによるアイデア出しの方法
【前期】 31～40回目	様々な状況を想定しながらの運営方法
【後期】 41～48回目	マーケティングの基礎解説、宣伝プランの計画
【後期】 49～56回目	考えたものを他者に伝えるための資料作成法
【後期】 57～64回目	プレゼンテーションの仕方
【後期】 65～72回目	ツアー行程表の組み方
【後期】 73～82回目	各セクションとのミーティングを重ねながら、「企画イベント」をつくる
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	制作作業は、チームワークがとても大切です。 コミュニケーション能力を高め「最高のイベント」を作り出しましょう。
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校E S P エンタテインメント東京

授業科目名	企画制作実地演習 I		授業形態 / 必・選	演習	必修					
			年次	1 年次						
授業時間	180分 (1単位時間45分)	年間授業数	9回 (36単位時間)	年間単位数	2 単位					
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース									
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐									
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。									
授業概要										
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。										
到達目標										
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。										

授業計画・内容	
1～2回目	学生コンサート・ライブ実習①② 各セクションの作業内容、タイムテーブル、関連性を学ぶ
3～4回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 ①屋内会場 ②屋外会場
5～9回目	E S P 学園主催イベント①～⑤
評価方法	平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、業務要項等を配布